

竹久夢二

本

からはじまる

メッセージ展

ブックデザイナー&詩人の顔に迫る

9月30日 金 12月25日 日

竹久夢二(1884~1934)は、大正昭和初期に活躍した作家の書籍を数多く装幀すると同時に、自身も著書を出版して個性溢れる意匠で本を彩り、ブックデザイナーとして才能を発揮しました。

また若き日に詩人を志していた夢二は、生涯を通じて様々な場面で詩を詠みました。絵画作品と同様にロマンチックな情趣に満ちた夢二の詩歌は、著書で編んだ詩集や少女向けの雑誌等で親しまれました。時を越えて、現代においても読み継ぎたい夢二の詩は数多く、詩人としても魅力溢れる存在です。

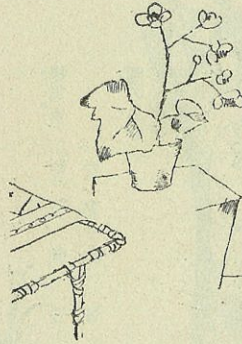
本展ではブックデザイナー、そして詩人としての夢二に注目し、本を通じて夢二が表現した美の世界とメッセージに迫ります。



手紙

やぶかずに
しまつておく手紙
やぶいてすてる手紙
やぶきもならず
すてもできない手紙
帽子屋の勘定書の手紙
手紙はみんななつかしい
だがやぶけもせず

ゆめ・たけひき、
一九二八・三・二五



すてもできない
手紙はかなしい。



2



3



4

担当学芸員による
ギャラリートーク
10/8(土) 11/13(日)
12/10(土)
午後3時ヨリ

竹久夢二美術館

〒1113・0032 東京都文京区弥生2・4・2
Tel. 03(5689)0462
<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

休館日 月曜日 ただし10/10(祝月)開館、翌10/11(火)休館
開館時間 午前10時~午後5時 入館は午後4時30分まで
入館料 一般900円/大・高生800円/中・小生400円
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

1 手紙 大正15年 2 ひと夜のなかけ 大正4年 5 縮刷夢二画集 大正4年 6 地獄 大正9年 7 夜の露台 大正5年